

## 地域・家庭と共に豊かな心を育てる道徳教育

### 尾道市

所在地：尾道市久保一丁目 15-1

電話：0848-20-7454

学校数：小学校32校・中学校20校

URL：<http://www.bbbn.jp/~obe/>

### <取組みと成果のポイント>

#### (1) 取組み

- ・学校を中心に地域参加型の社会貢献活動及び体験活動を実施し、地域の人々と人間としての在り方や生き方について語る機会を設定する
- ・コーディネーターの有効な活用
- ・地域を舞台とした道徳の時間の充実
- ・中学生には「志」を、小学生には「夢」を持たせる取組みのあり方

#### (2) 成果

- ・全学校での授業公開により、道徳の時間について地域の方により広く理解された
- ・学校と地域との連携を一層深めていく機会を提供することができた
- ・エリアコーディネーターの位置づけにより学校と地域との組織的な連携の在り方について研究・実践する体制を整備することができた

<キーワード> 「おのみち『心の元気』ウィーク」・地域を舞台とした道徳の時間・社会貢献活動

## 1 研究の特色

- (1) 学校を中心に地域参加型の社会貢献活動及び体験活動を実施し、地域の人々と人間としての在り方や生き方について語る機会を設定する
  - ・「おのみち『心の元気』ウィーク」の充実
  - ・各学校における、地域や学校の特色を生かした独自の地域連携事業の実施
- (2) コーディネーターの有効な活用
  - ・学校と家庭や地域の連携や調整方法
- (3) 地域を舞台とした道徳の時間の充実
  - ・地域を舞台とした道徳の時間の自作資料作成
- (4) 中学生には「志」を、小学生には「夢」を持たせる取組みの在り方

## 2 実践事例

### (1) 「おのみち『心の元気』ウィーク」

11月1日～7日に広島県が実施している「ひろしま教育ウィーク」を、「おのみち『心の元気』ウィーク」とし、市内全ての小中学校で「道徳の時間」を地域に公開するとともに、児童生徒と保護者、地域住民、教職員が協働して社会貢献活動を実施している。児童生徒、保護者、地域の方、教職員が共に作業をしながら「道徳の時間」を参観しての感想や地域でのボランティア活動等を語り合い、地域の一員としての自覚を高めていくとともに、地域と学校が一体となって児童生徒の道徳性の育成を図るきっかけとすることをねらいとしている。

社会貢献活動としての各学校の取組みの中で、最も多いのが清掃活動である。地域の方や保護者と一緒に、校区内や通学路等の清掃活動を行うものである。清掃活動については「おのみち『心の元気』ウィーク」の期間だけでなく、年間を通して計画的に実施している学校もある。

清掃活動のほかにも、各学校では地域との連携を図りながら、それぞれ独自の地域貢献活動を計画し、実施している。例えば、あいさつ運動や花いっぱい運動、特別養護老人ホーム等の訪問、生徒自身が腐葉土の製造・販売する活動、地域の方の協力による農業体験などである。

(2) 「おのみち『立志式』」

平成17年度から、中学2年生が自らの志を宣言し、これからの人生を逞しく生き抜こうとする自覚・意欲を高めることを目的として、「おのみち『立志式』」を実施している。




第1部は式典・第2部は志宣言・第3部は志コンサートという内容で、代表生徒が自分の夢や生き方についての発表を行ったり、尾道市長をはじめ市民の代表、保護者の代表等さまざまな立場の方から激励の言葉をいただいたりしている。式後の生徒アンケートでは「中学生としての自覚が高まった」「同じ中学2年生が発表する姿に感動した」等の感想が半数を超える高い評価であった。また、第1部の式典の厳粛さと、それぞれの立場からの激励の言葉が、多くの参加生徒に中学生としての自覚を高め、自己の生き方を見つめさせた。さらに、「志宣言」「志コンサート」は生徒にやる意欲をもたせ、志を高めるものとなった。




(3) 尾道市立浦崎小学校における実践

① 道徳地域公開

平成18年度の道徳地域公開では、地域の方に授業に参加していただいた。地域の方に授業への参加をお願いするにあたっては、担任だけでは難しいので、コーディネイト会（地域に詳しい方との話し合い）を開き、地域の人材、授業内容等について話し合った。

この年の公開授業のテーマは「夢と志」（尾道さくらプランに基づいて）とし、取り組んだ。ゲストティーチャーとは事前の打ち合わせ会を設定し、授業の流れ、話していただく内容について細かく打ち合わせを行った。「夢と志」についてゲストティーチャーに話していただいたことは、公開授業の参加者・児童に好評であった。

1年	2年	3年
		
おじさん、なにやっているの 感謝	ねばりパワーでGO! 勤勉努力	お父さんとぼくの学校 郷土愛
学校で本を読む会「ルピナス」の方にどのような気持ちや願いで活動しているかを語っていただいた。	野球の監督をしている方に粘り強く努力することの難しさと喜びを語っていただいた。	P T A役員を2年間された方に「地域への思いや志」を語っていただいた。

4年	5年	6年
		
ぼくらだってオーケストラ 信頼友情	あと三十分おくれたら 尊敬感謝	おばあちゃんのさがしもの 家族愛
学生時代から野球をしてこられた方に仲間とともに夢を持って頑張ってきた経験談を語っていただいた。	消防隊員である方に、仕事をしているときの気持ちや志を話していただいた。	病気の中で、家族や周りの人たちの支えによって生きる喜びを感じ、志を持って地域に貢献している方に思いを語っていただいた。

〔これまでゲストティーチャーとして授業に参加してくださった方の感想〕

・依頼があり、何を話そうかと悩んだ。当日、とても緊張したが、子どもたちがよく聞いてくれた

ので、うれしかった。人前で話すのは初めてだが、聞いてくれている実感があり、話してよかったと思った。

- ・子どもたちに話すことを楽しみにしていた。小さい子どもに話すので、分かりやすい話をしたいと思った。5分しか時間がなかったので、こちらからの話しかできなかった。もっと子どもたちの意見も聞きたかった。

## ② 地域や学校の特色を生かした取組み

### 《全校での取組み》

#### ア 米づくり

毎年、全校で田植え・稲刈りを行う。できた餅米を使って収穫感謝祭をお世話になった方・保護者・児童といっしょになって行う。全校児童が楽しみにしている行事で、地域の方や米作りでお世話になった方に、

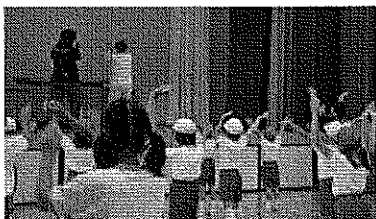


できたお餅をプレゼントしている。平成17年度は、米作り20周年にあたり、地域の一人住まいのお年寄りにできたてのお餅を配り喜んでいただくことができた。

#### 〔児童の感想〕

- ・初めて会う人もいて、少し恥ずかしかったです。しかし、お年寄りの方は、すごく喜んでくださいました。たくさんのお手紙が届きうれしかったです。

#### イ 「かんらん」踊り



地域で踊られている「かんらん踊り」に挑戦した。地域の方に指導していただき、運動会に全校で踊った。町内放送で流れている「かんらん踊り」の曲をみんなで踊り、地域の人から「良かった。」と声をかけられた児童が多くいた。

#### 〔児童の感想〕

- ・私は、最初あまりゆっくりな踊りは好きではないし得意ではなかったのですが、あまり上手にできませんでした。だけど、ゲストティーチャーの方に何度か教えてもらううちに上手に踊れるようになり楽しく踊ることができました。この踊りは、浦崎の自慢の踊りなんだと考え、自信を持って踊ることができました。運動会の日もこの気持ちを持って踊ることができたので、本当によい思い出になりました。

#### ウ 地域貢献活動

道徳地域公開参観日の後、地域の公民館や公園の掃除を保護者と一緒に行った。学期に1回は、通学路のゴミ拾いを行っている。



#### エ あいさつ運動

児童会の執行部は、毎日あいさつ運動を行っている。毎月第1火曜日には、児童民生委員さんたちと一緒にやっている。また、学校では、各クラスの「あいさつ先生」も登校後児童会執行部と一緒にあいさつ運動を行っている。「おはよう」「行ってきます」「こんにちは」「ただいま」のあいさつが地域でもできるよう取組みを進めている。

### 《各学年の取組み》

	活動の様子	学習内容
一 年		<p>地域の保育園との交流を行う。小学校の先輩として、国語の学習で行った「これは何の本でしょう」のクイズを行う。</p> <p>9月には、できた稲穂を雀から守るために、地域のお年寄りや保護者と一緒に案山子づくりをした。</p>

二年		<p>地域の企業に、社会見学に行く。働いている人々の考えや気持ちに触れる。</p> <p>シニアクラブの方と手作りおもちゃをつくった。竹ぼっくり・竹とんぼなどをお年寄りと一緒に作りお年寄りの温かさに触れた。TVゲームで遊ぶより自分たちでつくったおもちゃで遊ぶ方が楽しかった。</p>
三年		<p>地域の特産物であるキャベツ別名「かんらん」をつくっている農家に見学に行き地域を支える人々の苦労や努力について触れた。</p> <p>浦崎小学校の宝である「平和の使者・ドリスとベティ」（「青い目の人形」）の話を地域の方（エリアコーディネーターの方）に聞き当時の人々の思いを知った。</p>
四年		<p>地域の特別老人ホーム「浦崎寮」のお年寄りと交流を行う。お年寄りに喜んでもらえるように発表を考えて行った。</p> <p>今年度より地域の方から「詩吟」を全校で指導を受けている。日本の文化と伝統に少し触れながら、学習発表会ではオープニングに4年生が「富士山」を吟じた。</p>
五年		<p>21年目を迎える米づくりを地域・保護者の支援により、5年生が中心に行っている。田作り・夏の草取り・はぜづくりなど日々の世話を任されている。</p> <p>里海学習として「海老干潟」の観察を四季を通じて行った。発表会を開き、全校や地域の方などに故郷の海のすばらしさを知ってもらった。また、瀬戸内海援隊に入り、清掃活動も行っている。</p>
六年		<p>浦崎は神楽を伝統文化として、受け継ぎ守っている町である。神楽太鼓をアレンジした「城ヶ丘太鼓」の練習を神楽保存会の方（エリアコーディネーターの方）に指導を受ける。地域の「健康福祉まつり」のオープニングに演奏したり、学習発表会に発表したりする。「舞」を入れることで地域・保護者からも好評であり、低学年の目標となっている。</p>

#### 〔児童の感想〕

- ・竹ぼっくりの作り方を教えてくださってありがとうございます。のってみたら、とても楽しかったです。竹とんぼを作るとき、おじいさんがけずったらうすくきれいにけずれていてすごいなあと思いました。（2年生）
- ・お腹からしっかりとした声をだして一つ一つの言葉を発音するのは難しいけど、とても気持ちがよいです。日本に古くから伝わる詩吟をカッコよく表現できるようがんばりたいです。（4年生）

### 3 研究の評価

- 「おのみち『心の元気』ウィーク」の取組みは、各地域の予定等の関係で期間は拡大したが、全小中学校で実施した。
- 道徳の授業に、平成17年度は全市で約6100人、平成18年度は6700人、また、地域貢献活動には平成17年度が約3700人、平成18年度が4000人と、大変多くの方々に参加いただいた。また、終了後のアンケートでは、道徳の授業については97%の方が、地域貢献活動については92%の方が「大変良かった」または「よかった」という回答であった。
- 市内全体の社会貢献活動は、清掃活動が主となっているが、地域の公共施設等に出かける、地区単位で住民の指導協力を仰ぐなど、より地域との交流を意識したものとなってきている。また、各校の工夫によって特徴的・継続的なものが企画・実施されるようになった。